

## 議員提案説明

**藤元議員** 議案第32号、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書案について、杵富議員の賛同を得て提案させていただきます。趣旨説明については本文を朗読して説明に代えさせていただきます。子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書案。子宮頸がんは、日本の20歳代の女性では最も発症率の高いがんで、年間約15,000人が発症し、毎日約10人の方が命を落としています。その原因は、HPV、ヒトパピローマウイルスの感染によるもので、ワクチンで予防できる唯一のがんだと言われています。HPVは性交渉により感染するために、性行動を始める前の10歳代女性へのワクチン接種が有効とされ、海外ではすでに100カ国以上で使用されております。日本での予防ワクチンは、2009年10月に認可、12月より接種が始まりましたが、3回の接種には多額の費用が必要です。既に、自治体による公費助成が広がりつつありますが、命の重みに差があって良い筈がなく、国が責任をもって対処すべき課題ではないでしょうか。関係団体、専門家からも、将来のがん治療に要する費用を勘案すれば、全額補助した方がメリットが大きいとの声も上がっています。よって本議会は、政府に対し下記事項を強く要望いたします。記、1、子宮頸がん予防ワクチン接種にともなう公費助成の実施。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。2010年6月17日、徳島県海部郡牟岐町議会、提出先として、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長、以上、審議をお願いいたします。